

## Vol.182 部活動で身につく力

進学時に生徒が注目する学校生活の1つに「部活動」があります。部活動は、学校教育の一環として、生徒の自主的・自発的な自由参加により、授業クラスの違う生徒や異なる年齢・学年の生徒と共に、スポーツや文化、科学など様々な内容が行われています。では、部活動の取り組みによって、どのような力が身についているのでしょうか？今回は、全国の中学・高校生の子どもを持つ母親1,200人を対象に、お子様の部活動の加入状況、部活動で得たもの、職場や地域社会で必要な力について調査しました。

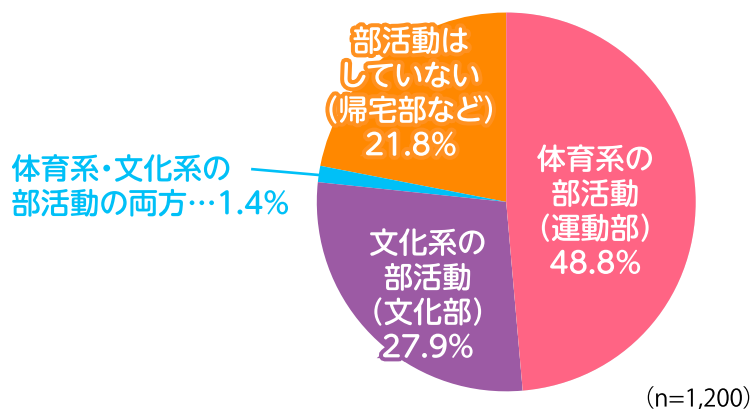


### 調査概要

調査対象：全国の中学・高校生の子どもを持つ母親  
1,200人  
調査方法：インターネットリサーチ  
実施時期：2020年11月

## Q 1. 部活動の加入状況

中学・高校生の子どもを持つ母親に聞いたお子様の部活動の加入状況は、「体育系の部活動(運動部)」(48.8%)、「文科系の部活動(文化部)」(27.9%)、「体育系・文科系の部活動の両方」(1.4%)という状況で、約8割が中学・高校で部活動に加入しているという結果でした。

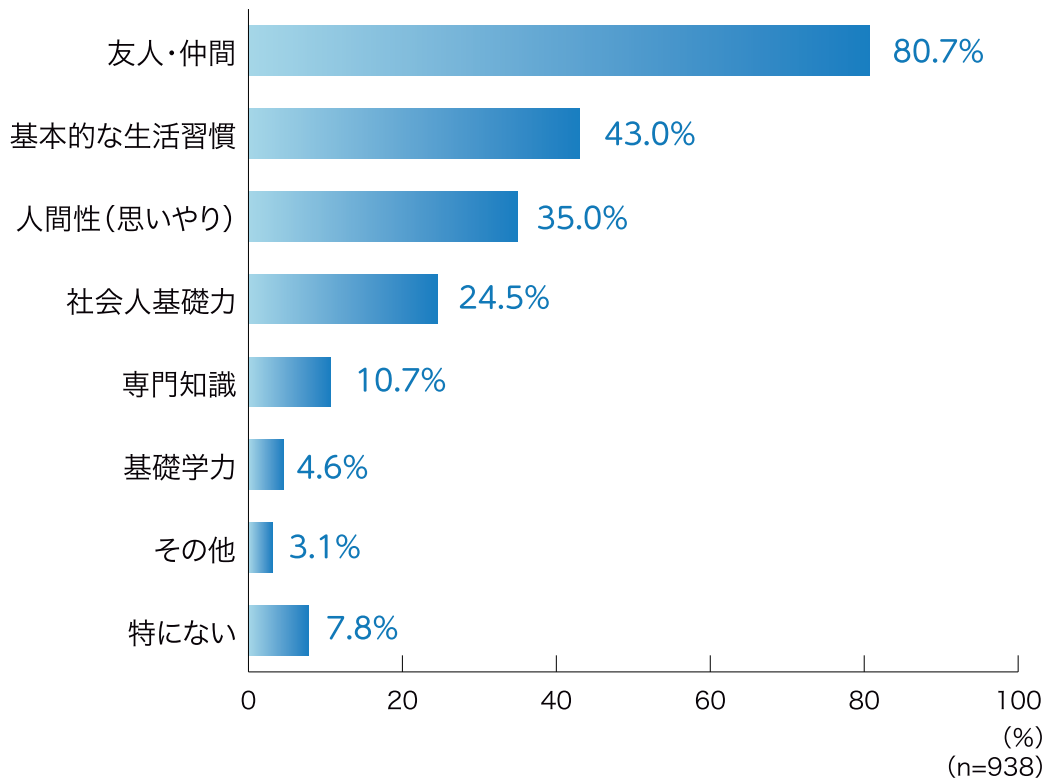


※グラフの数字は、小数点第2位を四捨五入しているため、合計が100%にならない場合があります。

【図1】 お子様は部活動をしていますか。(単数回答)

## Q 2. 部活動で得たもの

部活動を通じて得たものは「友人・仲間」(80.7%)が最も多く、次に、「基本的な生活習慣」(43.0%)、「人間性(思いやり)」(35.0%)、「社会人基礎力」(24.5%)といった社会に出てからも役立つ力を得られたという回答がみられました。

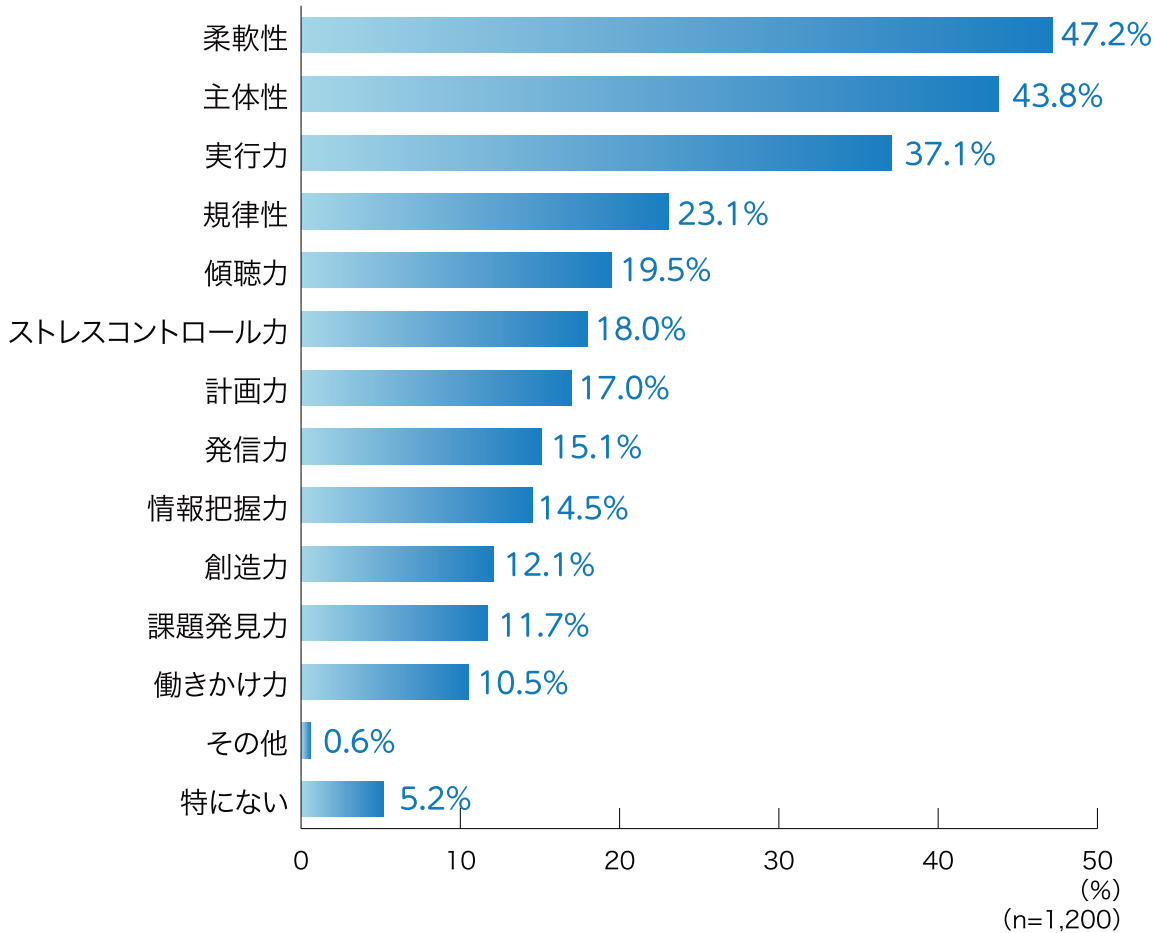


|          |                                     |
|----------|-------------------------------------|
| 基本的な生活習慣 | 公共心、倫理観、基礎的なマナー、身の回りのことを自分でしっかりやるなど |
| 社会人基礎力   | 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な基礎的な力    |
| 専門知識     | 仕事に必要な知識や資格など                       |
| 基礎学力     | 読み、書き、算数、基本ITスキルなど                  |

【図2】 お子様部活動で得たものは何ですか。(複数回答)


### Q 3. 職場や地域社会で必要な力

職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力としては、「柔軟性」(47.2%)、「主体性」(43.8%)、「実行力」(37.1%)、「規律性」(23.1%)、「傾聴力」(19.5%)、「ストレスコントロール力」(18.0%)など様々な力があげられました。



|             |                          |
|-------------|--------------------------|
| 柔軟性         | 意見の違いや立場の違いを理解する力        |
| 主体性         | 物事に進んで取り組む力              |
| 実行力         | 目的を設定し確実に行動する力           |
| 規律性         | 社会のルールや人との約束を守る力         |
| 傾聴力         | 相手の意見を丁寧に聴く力             |
| ストレスコントロール力 | ストレスの発生源に対応する力           |
| 計画力         | 課題の解決に向けたプロセスを明らかにし準備する力 |
| 発信力         | 自分の意見をわかりやすく伝える力         |
| 情報把握力       | 自分と周囲の人々や物事との関係性を理解する力   |
| 創造力         | 新しい価値を生み出す力              |
| 課題発見力       | 現状を分析し目的や課題を明らかにする力      |
| 働きかけ力       | 他人に働きかけ巻き込む力             |

【図3】 職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために、どのような力が必要だと思いますか。(3つまで)

 **まとめ**

学校での部活動は、学習意欲の向上や責任感、連帯感の涵養等、学校教育が目指す資質・能力の育成に資するとされ、学校教育として大きな役割を担っています。

今回、全国の中学・高校生の子どもを持つ母親を対象にした調査では、中学・高校生の部活動の加入状況は、「体育系の部活動（運動部）」と「文科系の部活動（文化部）」をあわせると、約8割が中学・高校で部活動に加入しているという結果でした。その部活動を通じて得たものは、「友人・仲間」（80.7%）、「基本的な生活習慣」（43.0%）、「人間性（思いやり）」（35.0%）、「社会人基礎力」（24.5%）といった学力以外のことが多くあげられました。そして、職場や地域社会で多様な人々と仕事をしていくために必要な力としては、「柔軟性」（47.2%）、「主体性」（43.8%）、「実行力」（37.1%）、「規律性」（23.1%）、「傾聴力」（19.5%）、「ストレスコントロール力」（18.0%）などの力があげられており、部活動を取り組むことにより身につく力との関連がみられました。

社会で求められる能力が日々変化する中、子どもたちが未来を生きるために必要とされる力は、IQ（知能指数）や学力など数値化できる認知しやすい能力だけでなく、忍耐力やコミュニケーション力、自信や楽観性などの数値化しにくい能力である「非認知的能力」や「社会人基礎力」や「自立力・生活力」などが求められているようです。

毎月最終  
火曜日  
更新

**カンコーホームルーム ～学生を読み解くデータ集～**

カンコーホームルームは、学生を取り巻く環境や子どもたちの意識・ライフスタイルについて、多角的に調査・分析し、その結果をお届けしています。  
ホームページでは、今回ご紹介した調査データ以外にも様々な情報を掲載しております。

<http://kanko-gakuseifuku.co.jp>